

きら☆ぴか隊 活動報告

1. はじめに

昨年度の「スマイル」というプロジェクトを引き継ぎ、東日本大震災で被災した子どもたちが楽しく園生活を送れるように手作りおもちゃや保育教材を送りたいと考えました。

また、「きら☆ぴか隊」では、ボランティアに加え、幼児教育・保育科で学んだことや子ども公演部での経験を生かして、子どもたちと楽しい時間を共有できるような活動もしていきたいと 2 つの目標を立てて取り組みました。

2. プロジェクトの内容

- (1) 公演活動の依頼・訪問園の決定
＜5月～6月＞
 - ・豊橋市内 3 園の保育園
- (2) 手作り教材・おもちゃの制作
＜7月～9月＞
 - ・エプロンシアター
 - ・パネルシアター
 - ・ペープサート
 - ・手作りおもちゃ 等
- (3) 公演活動の練習
＜11月～1月＞
 - ・エプロンシアター（おかしのはしのくいしんぼう）
 - ・手遊び（むすんでひらいて）
 - ・数遊び（1羽のにわとり）
 - ・パネルシアター（バナナのおやこ）
 - ・ダンス（エビカニクス）
- (4) 手作り教材・おもちゃの発送
＜12月＞
 - ・陸前高田市の 3 保育所

(5) 公演活動

- ＜1月＞
- ・豊橋市内 3 園の保育園
 - ・エプロンシアター（おかしのはしのくいしんぼう）
 - ・手遊び（むすんでひらいて）
 - ・数遊び（1羽のにわとり）
 - ・パネルシアター（バナナのおやこ）
 - ・ダンス（エビカニクス）

3. まとめ

昨年度、教材やおもちゃを送った園から紹介して頂き、今年度は被災した 3 つの園に教材やおもちゃを送り、継続的なボランティアを行うことが出来ました。教材を送った被災地の保育園の先生方や子どもたちからお礼の手紙と写真を頂きました。笑顔の子どもたちの写真を見て、私たちもうれしくなりました。遠く離れていても、気持ちを届けることができ、心が繋がることを実感しました。

地域の保育園の訪問では、実際に作った教材を使って、公演活動をしました。とても緊張しましたが、公演を行うことで子どもたちの前で行う実践力を得るとともに、子どもたちに体を使って遊ぶ事の喜びと楽しさを伝えることが出来たと思います。楽しい時間を共有することで、お互いの気持ちが近くなると感じました。

これらの活動を通して、教材作りの大切さや大変さについても学びました。教材を 1 から作るため、どのような教材ならば子どもたちに喜んでもらえるのかを考え、その教材を作るにあたり、どのような材料が必要になるのか、自分たちの足で材料を見に行きました。見に行ったことで、初めて見る教材もあり、将来の役に立つ情報を得ることが出来ました。



4. 謝辞

本プロジェクトを遂行するにあたり、プロジェクトを主催して下さいました理事長ならびに先生方に深く感謝致します。また、活動を進めるにあたり、ご指導頂いた先生方にお礼申し上げます。